

令和6年度（2024年度）大分大学グローバル感染症研究センター
研究集会報告書

採択番号	2024M03	
申請者に関する事項	氏名	三室 仁美（三室教授がコンビーナのため代表して申請）
	所属機関名	大分大学グローバル感染症研究センター
	職名	教授
研究集会名	第97回日本細菌学会総会 W1 細胞外小胞研究最前線	
開催期間	令和6年（2024年）8月7日	
本センター担当教員	三室 仁美	
令和6年度（2024年度）研究集会の概要		
札幌コンベンションセンターで2024年8月7日～9日に開催された、第97回日本細菌学会総会のなかの、ワークショップ1「細胞外膜小胞研究最前線」のセッション（コンビーナ：安部公博先生（感染研）、三室仁美（大分大））として、2024年8月7日（水）17:20-19:20、札幌コンベンションセンター特別会議場にて開催された。 本ワークショップでは、細菌学に関連する多方面にわたる様々な研究者に、細菌が産生する菌体外膜小胞や真核細胞が産生するエクソソームなどの細胞膜小胞研究の最前線を紹介していただいた。 基礎的な解析のみならず工学的なアプローチや、医療に直結する内容など、分野横断的な演題が集まり、さまざまな角度からの最先端の研究をご発表いただけたことで、活発なディスカッションが展開できた。		